



発行所：ベトナム子供基金

〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13 アジア文化会館内

電話(代表)：03-3946-4121 ファクス：03-3946-7599

電子メール：kodomokikin@nifty.com ホームページ：http://homepage3.nifty.com/vcf/

# ベトナム子供基金通信

No. 42

2008. 1. 19



日本は、私の生まれる前は、いろいろな国と戦争をしましたけれど、私の生きてきた時代には、戦争はありませんでした。

ベトナムでは、近年戦争が続き、美しい国土を破壊し、大切な家族を引き裂いて、多くの人の心の中に深い傷を残しました。

この写真のように、これからの子どもが生きていく時代は、きっと、戦争はしないでしょう。

日本は、戦争をしないで豊かな暮らしを目指しました。しかし、豊かになりましたが、国土の美しさと心の美しさを少しくしてしまいました。これからは、美しさを取り戻

すために努力を始めなくてはなりません。

ベトナムが美しい豊か国になるため、その礎となる子どもたちを応援できることを幸せに思います。「ベトナム子供基金」が一人でも多くの子どもたちの、「笑顔」づくりに貢献できることを願います。

ひかわ よしみ  
(樋川 好美)

# 塩谷隆とトアイ・リュウ(ホーチミン市在住)の訪問記

塩谷隆さんは東京都在住の本会会員。ベトナム青葉奨学会の仲立ちで、2006年にドンナイ(Dong Nai)省フーリ(Phu Ly)村に学校建設資金を寄贈をした。

フーリ村では3教室しかない小学校が生徒を収容できないほど手狭になっていたのを、塩谷寄金で新たに4教室を増設した。

塩谷さんは06年にベトナム各地を調査、フーリ村を選定したもの。

07年6月に訪越し、フーリ村を訪れたときには、新しい小学校や付帯設備は完成し、すでに活用されていた。

村では塩谷さんの訪問に合わせ、少し遅れてではあったが、盛大な「開校式」を挙行了した。

以下は塩谷さん本人の訪越記である。 一編集部



バウフン小学校(左・既設部、右・増設部)

## 山村の小学校へ

2007年6月25日、私と里子のトアイ・リュウ(Thui Lieu)は、ドンナイ省フーリ村バウフン(Bau Phung)小学校の開校式に行ってきました。

フーリ村はホーチミン市から北東へ80km、緑豊かな山林の村です。

昨年ベトナム子供基金事務局から、小学校の校舎建設に協力でき



塩谷さんの寄金で増設されたバウフン小学校

ないかと申し出があり、現地を見てから決めたいと思い、訪ねた場所のひとつがフーリ村でした。

## 校舎、トイレ、井戸を

木々の中に涼しそうに建っていたのが3教室のバウフン小学校。

生徒、先生、村の人たちが校舎を塗り替えたばかりで学校を大事に使っているのがよく分かりました。

で、おしっこと思いトイレを探しましたがありません。聞くと、生徒たちは林の中で用をすますそうです。

じゃあ水は?…100m先の教会に借りに行っている、とのことでした。

ああ、微力でもここに校舎とトイレと井戸を作れたら、と校舎建設をお願いしました。

## フーリ村の生活

フーリ村は、キャッサバからタピオカを作ること、ジャックフルーツ、マンゴーを採ることが主

産業。ほかには、木材の伐採と湖での漁業などが、生活の柱になる産業というのが実態です。

去年は道路工事に力を入れていました。

## 3教室に350人の児童

当時のバウフン小学校は3教室をフルに使い、午前と午後各3クラス、計6クラスで約350名の児童に授業をしていました。

教室は生徒で一杯になり、村に住む200名弱の子どもたちは7kmも離れた別の小学校に通っていました。



新設された屋外トイレ(左)

## 主賓は私!

さて1年後の07年、楽しみに胸をワクワクさせて新築された学校を見に行きました。

# ドンナイ省フーリ村に小学校建設



開校式であいさつする塩谷隆さん(右)

生徒、先生、村の人、省の人、党の人など、大勢が迎えてくれました。なにせ主賓は私とのこと。

やっぱり子どもたちの歓迎が一番うれしかったです。

夏休みで出席した生徒数は40人くらいでしたが、目を輝かせて、日本人ってどんなんだろう、成績よかったから何かもらえるんじゃないか、と期待して待っていました。

党や行政や先生など大人のスピーチが行われました。その間に方々から差し出される手と握手合戦です。



参会の小学生らと記念撮影(最後列中央)

## 交流、心温まる

大人の行事が終わると、楽隊が登場、いよいよ子どもたちの出番

です。児童のお礼の言葉、楽隊の演奏、歌。心に残りました。

私は、貧しいけれど勉学に熱心な生徒数人に奨学金を授与し、さらに開校式に出席した生徒全員にノートをプレゼントしました。ささやかなものですが、それ

を手にした子どもたちはみんな楽しそう。

私は子どもたちみんなとも心を込めて握手しました。

私の里子のタイ・リュウは、この日一日カメラウーマン役を務めてくれました。

村の人々や児童との交流は貴重な経験で、忘れられないものです。



開校式でのテープカット(左から5人目)

## 新しい教室

以前からあった、3教室に加えて一回り大きい1棟、4教室が増築されたのです。

新しい4教室には、窓ガラスがはめ込まれ、電灯、天井扇風機が設置され、今までよりずっと快適になりました。

懸案の井戸とトイレも、林の中

に機能的に収まっていました。

9月からの新学期には大勢の子どもたちがパウファン小学校に集まってくれるでしょう。



学校関係者と(右端)

## 定期的にパウファン小学校に来たい!

お金を出して学校建設というのは、「いいことをした」ということにすぎないでしょう。

子どもたちに会って、先生の話を聞いて、村の人たちと会話して、一過性のものにはしたくないと強く思いました。できるならば毎年フーリ村を訪ね、パウファン小学校の生徒たちに会うようにしたい、と思っています。



開校式の鼓笛隊

「ベトナム子供基金」里親と里子のドタバタ小学校校舎開校式旅行は楽しい! 皆さまにもぜひお勧めします。

しおや たかし  
(塩谷 隆)



## トナムからの手紙

青葉奨学生の手紙の一部を抄出します。

今回は99通の手紙を読みました。低学年生は手紙が短いので、掲載するものは、中学・高校生のものになりがちです。

奨学生からの手紙の大部分は5、6、7、8月の学期末に書かれ、大量に日本に送られてきます。

ベトナム語の翻訳者が少ない上、ベトナムの郵便事情も十分でないので、手紙の内容が時節はずれになってしまいます。どうぞお許しください。

手紙を読んでみると、簡略に「生活が困難」と書いている多数の生徒がいました。経済的困窮はすべての生徒に共通していると思ひ、順位に入れませんでした。貧困と明記した生徒は24人(24%)です。

一番気になったのが「両親または片親がいない」生徒が12名(12%)いたことでした。

「家族に病人がいる」というのが第2で、11人(11%)でした。十分な医療を受けられず、心を痛めている様子が見えます。

夢や希望を語っている生徒は数名です。逆に、奨学金をもらっているにもかかわらず「成績が下がる」ことに悩んでいる者もありました。

ベトナムは日本以上に「格差社会」なのかもしれません。

なお、本文と写真は直接関係ありません。 —編集部



川岸での荷あげ作業

### 家族、病気です

マイ・タイン・トル

私は、青葉奨学会を通じて里親の東京西北ロータリークラブ様が支援してくださる奨学金をちょうだいしているマイ・タイン・トルと申します。里親の皆さまはお元気でいらっしゃいますか？

私は天候が過酷なせいかよく風邪をひいています。

私の兄と姉は心臓病を発病し入院しなくてはならず、母も2人の病人の世話をするため心労が重なり病気になってしまいました。

私の父は宝くじを売り歩いていますが、毎日売れ残り、薬代にしかありません。父は高血圧、ぜんそく、咽頭炎などいくつかの病気を患っているのです。

2番目の姉がわが家の大黒柱です。姉は本当に苦勞しています。家計を助けるために、誰かに何かを頼まればそれをやります。

そんなわけでこの数カ月間、里親さまがご援助くださる奨学金を受け取ることができなかつたら、私は学費を支払うことができなかつたのでした。私も常に学費をまかなうために何か仕事はないかと探しています。

里親さまのご援助は私にとっては非常に重要で大変価値のあるものです。里親さまどうもありがとうございます！

これまでの1年間、私は非常に努力したにもかかわらず、「非常に優秀な生徒」になることができず、「優秀な生徒」の成績でした。

教育カリキュラムの改革によって内容がやや難しくなったために、私の学校では「非常に優秀な生徒」がとても少なかったのだと思います。



ホーチミン市中心部

私のクラスでは、ようやくクラスメートが親密になり、先生も私の家庭の境遇に同情してくださいました。

ずっと以前から私は里親さまが私に宛ててくださった手紙を受け取ってみたいと思ってきました。手紙の最後に、里親の皆さま方のご健康とご成功をお祈り申し上げます。

(Mai Thanh Tol 2007.6.3)



貧しい家の並ぶ川岸

## 母も弟も、私も頑張る！

ヴォ・ティ・キム・チ

新しい1年が、数多くの素晴らしい出来事とともに再びやってきました。それはまた試練や困難が決して少なくないことも約束されています。

私たちの誰もがひとつ歳を取り、見識が広がり、思考が深まり、また責任もさらに重くなると感じるものです。

里親さまのご健康はお変わりないことと存じます。今日本はどの季節なのか私には分かりませんが、草木は青々と繁っていますか？

気候は過ごしやすいでしょうか？

私は自然が大好きです。毎回実家に帰るたび、外に出て空や雲を眺めたり、森や草の茂みの景色を眺めに出かけます。

それらは毎日日ごとに変化があります。花が1本伸びて開いたり、虫が1匹現れたり……とても楽しいです。

でも私は里親さまのご趣味が何か存じ上げません。

今年私は再び継続して青葉奨学金を受領させていただいています。

このことは私の母を喜ばせただけでなく私もうれしく思っていま

すし、里親さまも大変喜んでくださっていることでしょう。つまり、私はまた2カ月ごとの月初にお金をいただくことができ、筆記用具やノートの購入、果ては学費の支払いまで、多くのことが解決できることとなります。

私は自分が大変幸運だと思っています。数多くの方々のご援助とご関心をいただくことができたからです。



観光土産の「餛飩」づくり

世の中には大変多くの方が援助を必要としていながらそれを受けることができないでいます。

今年私の弟も大学に入りました。私は母の背負う苦勞がますます大きくなっているとはっきり感じます。

それでも私の母は毎月毎月努力しています。そして私たち子ども

も毎日頑張ります。

来年には卒業です。私は早く卒業したいと願っています。

卒業したら母や弟、そして祖母のことも面倒を見たいと思います。……私の母はもう苦勞をしなくてすむでしょう。そのときにはきっととてもうれしいでしょうね、里親さま。

私は試験の季節に入りました。2週間ごとに1科目試験があります。



メコン川中州の観光舟

勉強していると時間をすっかり忘れてしまうことがありますが、私の家族はそれでもいつも私のことを応援してくれます。青葉奨学会も里親さまも応援してくださいませ。

私は里親さま、青葉奨学会の先生方、ほかの里親の皆さま方が、私やほかの子どもたちを常に援助してくださることに大変感謝しています。

今日という日は昨日という日から始まり、私の今日の一部は先生方のお力によって作り出されました。

手紙の最後に、皆さま方のご健康をお祈り申し上げ、皆さま方のお仕事が素晴らしい成果を取られますようお祈り申し上げます。

敬具

(Vo Thi Kim Chi 2007.6.6)

## 両親離婚で生活苦しい！

マイ・タイン・トゥイ

私はトゥホアファン (Thu Khoa Huan) 高校12年9組 (高校3年生) のマイ・タイン・トゥイです。

初めに里親さまの健康と、ご家族の皆さまの変わらない幸運をお祈りします。

久しぶりでペンを執って里親さまに手紙を書くことは、私にとってとてもうれしいことです。

里親さまの支援を受けることはとても幸運なことです。なぜならわが家はまだまだ困難な状況にあるからです。

両親は離婚しました。わが家には田畑はありません。母はひとりでわれわれ2人の姉妹を育てています。

しかし、私は自分がほかの友人たちよりは幸福だと思います。こうして現在も学校へ行くこともできますし、里親さまの支援をこうして受けながら、勉強が続けられるからです。

残念ながら里親さまにはまだお会いすることはできません。しかし、私の心の中には美しい里親さまのお写真があります。いつも私を支援し、私や貧しい子どもたちに関心を寄せてくれる里親さまがいます。

里親さまの気持ちや、私に対する関心は私の心をととても温かくしてくれます。

里親さまのこれまでの支援は母や私の家族の重荷を楽にしてくれました。いただいたお金は学校の

授業料などに使わせていただいています。

私の家族も里親さまの援助に感謝しています。

里親さまのこのような活動は本当に素晴らしいものです。里親さまは私の2番目の両親のようです。

いつか里親さまにお会いすることができたら、里親さまに私の心からのお礼を直接述べたいと思っています。里親さまの私に対する心は、空の星や、秋の葉のように限りなく広いものです。もう一度里親さまに心からお礼を申し上げます。

里親さまの支援活動は夏季キャンプで多くの兄弟姉妹、友人たちとの出会い・交流を可能にしてくれました。里親さまのこのお金にも勝る行いは、私の心にいつまでもいつまでも刻まれるでしょう。

私はこれからも一生懸命勉強して、社会に役立つ人間になり、両親や里親さまの期待に応えるような人間になりたいと思います。

里親さま、本当にありがとうございます、ありがとうございます、ありがとうございます。私のような子どもたちに対するお心に感謝します。

この手紙で、里親さまに対する私の気持ちを素直に述べさせていただきます。

最後に里親さまそしてご家族の皆さまの健康と変わらない幸運と成功をお祈りします。私はこれからも頑張って勉強し、里親さまに感謝の気持ちを持ち続けます。

(Mai Thanh Thuy 2007.5.16)



ホーチミン市のシンボル「聖マリア教会」

## 母が生活を支えています

ヴォ・ホン・タム

私はティエンザン (Tien Giang) 省ゴーコン (Go Cong) 市ロンホア (Long Hoa) 村ゾンカット (Giong Cat) 部落のヴォ・ホン・タムです。ゴーコン市チュンディン (Truong Dinh) 高校10年2組 (高校1年生) の生徒です。

今日は久しぶりで里親さまに手紙を書かせていただきます。里親さまの、私のように困難な状況にある生徒に対する支援・関心について、心からお礼を申し上げたいと思います。

私の家族は社会の貧しい階層に属しています。

私の父は胆のうの病気で亡くなりました。母が教師をしながら、ひとりのわずかな給料で、2人の子どもを学校に行かせています。学校の費用もばかになりません。

毎月青葉奨学会からいただく里親さまの奨学金で、その学校の費用を払っています。

里親さまのおかげで、私はこうして勉強を続けることができます。ありがとうございます。

今年の私の成績は“良”でした。しかし、里親さまの支援のお心に応えるためにも、私はこれまで以上に一生懸命勉強することをお約束します。

里親さま、どうぞこれからも私のように困難な状況にある子どもたちの支援をよろしくお願いします。

もし将来給料をもらえるようになったら、私も里親さまと同じように私の給料から、向学心に燃える、貧しい子どもたちの支援をしたいと思います。

将来チャンスがあれば、日本へ行って、日本のことについて勉強したいと思っています。

手紙の最後に、ご家族の皆さまの健康と成功をお祈りします。また里親さまのお仕事に多くの幸運がありますように、お祈りします。

敬具

(Vo Hong Tham 2007.5.22)

## 母は病床にいます

ドアン・トゥ・ハン

私はドアン・トゥ・ハンです。現在ナムディン (Nam Dinh) 省ナムディン市チャンフンダオ (Tran Hung Dao) 高校10年 (高校1年生) A 6組の生徒です。里親さまの支援を青葉奨学会を通していただいています。

今日は、この手紙で里親さま、青葉奨学会の皆さまにこれまでの支援のお礼を申し上げます。この援助のおかげで、私たちは勉強を続けることができます。

里親さま、ご家族の皆さまお元気で過ごしてでしょうか。

里親さま、私は自分を幸運だと思っています。私の家族はとても困難な状況にあります。

私の母は脳の血管の病気で家で7年間、寝たきりの状態です。この間、私の家族は父のわずかな給料に頼って生活していました。

父は2人の子どもを学校に行かせ、母の薬のお金も心配しなければなりません。しかしながらこの数年父の会社には工員として働く仕事が十分にはありませんでした。

やむを得ず、父は別の仕事を探さなければなりません。

しかし昨年、父は交通事故に遭い、足を骨折してしまいました。あまりのことに、私も自信をなくしました。

しかし、そのときに里親さまから青葉奨学金をいただきました。私たち兄弟2人は元気づけられ、勉強に一層励みました。

その結果兄は大学に合格し、わたしもチャンフンダオ高校に合格することができたのです。

高校に入ってから奨学金を引き続きいただいています。

今ではコンプレックスも消え、困難を乗り越えて、一生懸命勉強しています。

青葉奨学会の里親の皆さまには、なんとお礼を申し上げていいか分

かりません。皆さまの援助がなければ、このような結果にはならなかったと思っています。

私は皆さまに自信と、友人たちとの競争にも負けない精神力をいただきました。

このような意味で私は自分がほかの友人たちよりも幸運だと思っているのです。

チャンダンニン (Tran Dang Ninh) 中学校9年 (中学校4年生) のときから奨学金をもらい、今もそれをいただきながらこうして勉強を続けることができます。

今年度の成績は“良”でした。化学と物理の成績はともに8.0以上でした。これからも頑張って勉強し、いい成績を取りたいと思います。

私の希望は3年後に大学に入学することです。それも決してかなえられない夢ではないと思っています。

大学を出た後は、私が支援を受けたように、困難な状況にありながら一生懸命勉強している子どもたちを支援したいと思います。

もう一度、これまでのご支援にお礼を申し上げます。皆さまが私のことに関心を持って見守ってくれているということは、なんと幸せなことでしょう。

この地球上の人々がすべて里親さまのようでしたら、地上には不幸な子どもがいなくなると思います。最後に里親さまと、ご家族の皆さまの健康と幸福をお祈りいたします。

(Doan Thu Hang 2007.5.20)

## ●事務局から

### ◆ご入金報告 ご支援ありがとうございます(敬称略 「新」は新規会員)

2007年9月

2007年10月

2007年11月

2007年12月

※最終入金日 封筒の宛名ラベルの下に 会員番号KD-××× ○年○月○日と印字してあります。

※基金のお申し込みは下記の専用口座をお願いします。

里親基金 & 一般基金 口座名義「ベトナム子供基金」

郵便振替 00140-1-70399 銀行振込 みずほ銀行駒込支店 普通預金 1495745

黄梅基金 & 学校建設基金 口座名義「ベトナム子供基金」

郵便振替 00190-6-666994 銀行振込 みずほ銀行駒込支店 普通預金 8071959

■2007年12月13日現在「ベトナム子供基金」が支援する「青葉奨学生(里子)」は413人です。

■2007年12月中旬から青葉奨学会の要請で行いました「春の木運動」には、1月9日現在、71人(団体を含む)から48万5千円の浄財をお寄せいただきました。ありがとうございました。寄付者氏名などは別紙をご覧ください。

### ◆ベトナム子供基金(会員を募集しています)

里親基金：年額1口2万円 学生会員：年額1口1万円	特定の「里子」に奨学金を支給する里親になっていただきます。ベトナム青葉奨学金から子どもの履歴票が届き、子どもとの手紙のやりとりができます。
一般基金 年額1口1万2000円	子どもたち全体の「里親」という関係を想定しています。子供基金通信によって、会の運営、子どもたちの様子をお伝えします。
賛助基金	一般基金に準じます。金額、回数等、いっさい自由です。
ベトナム黄梅基金 1口1万円	ベトナム子供基金の会員で基金を設立します。
個別黄梅基金 1口30万円以上	個人またはグループで黄梅基金を設立します。基金の名前、支援地域・学校等は、ご相談の上、決定します。
学校建設黄梅基金	青葉奨学会と相談の上、個人またはグループで学校建設と黄梅基金を併設した基金を設立します。

ベトナム青葉奨学会 QUY HOC BONG LA XANH 電話：84-8-8477359 ファクス：84-8-8477527  
c/o TRUONG NHAT NGU DONG DU 43D/46 Ho Van Hue, Q. Phu Nhuan, Ho Chi Minh, Viet Nam  
日本の「ベトナム子供基金」は、ベトナムの「青葉奨学会」を通し、ベトナムの子どもに贈られます。